

# 主権者教育だより vol.57 (令和4年2月)

～総務省からのお知らせ～

## ①「若者フォーラム2021」をオンライン開催します！

総務省では、これまでも若者への選挙啓発活動を行って参りましたが、今回は「若者フォーラム2021 日々のモヤモヤから始めてみよう 自分目線で見る政治・選挙ことはじめ」と題しまして、2022年3月5日(土)に若者に向けたフォーラムを開催いたします。

前半では、日本シティズンシップ教育フォーラム副代表で、若い力で活躍する古野香織さんによるオープニング講演、ドルトン東京学園中等部・高等部社会科主任で、教育現場で長年主権者教育に取り組まれてきた大畑方人さんによる基調講演を行います。

後半では、特定非営利活動法人NEXT CONEXION 理事の板倉菜々帆さん、グラフィックレコーダー・一般財団法人つわの学びみらい 教育魅力化コーディネーターの住田桃子さんも交えて、「自分目線で始めよう」をテーマとしたトークセッションを行います。トークセッションの進行と合わせて、住田桃子さんによるグラフィックレコーディングも行います。

また、イベント冒頭ではお笑い芸人ソフィー(上田航平さん・サイトウナオキさん)による選挙や政治をテーマとするオープニングコトを行います。3月4日(金)まで本フォーラムの参加者の募集を行っております。選管職員の方のお申込みも可能ですので、ぜひご参加下さい！



### 【開催概要】

- 日 時：2022年3月5日(土) 13:30～15:45
- 開催方法：オンライン配信
- 参加費：無料
- 参加申込：特設HPからお申し込みください。
- プログラム：

- 13:30 オープニングコト出演 ソフィー
- 13:35 オープニング講演「半径5mのモヤモヤから始めよう」講演 古野香織
- 13:55 基調講演「主権者教育を受けたことある人、手を挙げて！」講演 大畑方人
- 14:15 トークセッション「自分目線で始めよう」
- パネリスト：板倉菜々帆/大畑方人/ソフィー
- コーディネーター：古野香織
- グラフィックレコーダー：住田桃子

【特設HP】<https://www.wakamonoforum2021.soumu.go.jp>

【公式Twitter】<https://twitter.com/wakamonoforum21>

## 主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 中南・林・福田  
Tel：03-5253-5574 FAX:03-5253-5575

～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

## ②「情報誌VotersNo.66」を発行しました

66号の特集は『新科目「公共」を考える』です。来年度から高等学校で必修となる、主権者教育の基礎的科目「公共」について、その新設に至った経緯や、期待されることのほか、具体的な授業例や公共の要素を取り入れた選挙出前授業などについて、東京大学の小玉重夫先生、福井大学の橋本康弘先生、静岡大学の井柳美紀先生、明治大学の藤井剛先生にご執筆いただきました。

また、東京都品川区明るい選挙推進協議会の谷口孝彦会長から、品川区明推協委員の誰もが参加できるように作成した出前模擬選挙プログラムの概要と区内小学校で実施した際のアンケート結果等について御寄稿いただきました。

連載は、当協会の佐々木毅会長から「コロナ以後を展望して」と題したコラムと「イギリスのシティズンシップ(主権者)教育」の最終回、明推協リレーコラムは山形県明推協の松浦宏之会長に執筆いただいています。是非ご覧ください。 【問合せ先】(公財)明るい選挙推進協会 Tel：03-6380-9891



～若者向け啓発活動紹介～

## ③特別支援学校での選挙体験学習出前講座(埼玉県上尾市選挙管理委員会)

上尾市選挙管理委員会では、1月11日、埼玉県立上尾特別支援学校で選挙体験学習の出前講座を行いました。同校での出前講座は平成30年度から実施し、今回で4回目となります。この学習では、生徒に選挙の基本を知ってもらい、自分の考えに近い候補者を選び、投票することを体験してもらうことを目標としました。

講座は前後半で分け、前半では『選挙って何だろう?』『投票の仕方は?』『投票用紙には何を書くの?』について、生徒の反応を見ながらポイントを絞って説明をしました。生徒は集中して講義を聞いていました。

後半の模擬選挙では、学校の先生が立候補者役となり、公約は生徒が興味関心をもちやすいものとなりました。講座用の選挙公報を配布して、候補者ごとの演説を聴いてもらい、生徒には目と耳で理解してもらうようにしました。投票の場面では、実際に使用する記載台や投票箱に触れてもらい、生徒によっては職員が付き添い、様子を見ながら補助するようにしました。この模擬選挙では、生徒が「誰に投票したらよいか」真剣に考える姿をみる事ができました。

講座を終え、生徒からは「自分もできそう」「投票に行ってみよう」「候補者の話を聞いて、よく考えて投票したい」といった声がかれ、選挙への関心が高まったようでした。今後も、誰もが等しく投票に参加できるよう取り組んでいきたいと思っています。

